

「令和5年度伊達市経営に関する説明会議（保原地域）」発言録

日 時：令和5年4月26日（水）

13時40分～14時30分

場 所：保原市民センター

参加者：99/123人

（行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

**【質疑応答】**

**生活環境**

**■街灯、交通安全、ごみ捨て対策について**

行政推進員：福島スイミングスクールほばら北側の住宅地に街灯を要望しているが、3年経過しても対応していただけない。また、南側には阿武隈急行の隧道があり、非常に道幅が狭くなっているがスピードを出したまま車が通行するので危ない。ペットボトルやごみを捨てていく人もいるので対策をお願いしたい。

建設部長：街灯の設置は年2回、5月と10月に現地調査を行っています。現地確認を行い、必要な場所に設置をしていく予定ですので、ご理解いただきたく思います。幅員が狭い場所をスピードを落とさず通行する車両に対しては、安全対策として、徐行やスピード注意など表示の立て看板の設置も現場を確認し検討したいと思っております。

市民生活部長：ごみが捨てられている現場を確認して、看板等の設置を検討してまいりたいと考えております。

**■交通渋滞の解消について**

行政推進員：伊達中央インター近くの県道と市道3206号線（大地内田向線）は朝晩渋滞している。伊達橋通行止めの影響が非常に大きい。救急車も市道に入りづらい状況も見受けられる。また、3月末にオープンしたトライアルへ入る車両も多く、渋滞の原因となっている。警察に信号機の設置やゼブラゾーンにできないか相談したが、無理との回答があった。道路のカラー舗装を要望したら行政に相談するよう話があったため対応をお願いしたい。

建設部長：福島保原線は、伊達中央インターを降りて渋滞が激しい状況です。24時間営業の商業施設の隣接道路は県道で県が管理しています。市としても渋滞の懸念は承知しています。カラー舗装、信号機設置を含めた舗装等の渋滞解消に向けた方策を県に要望してまいりたいと考えております。

## **まちづくり・地域振興**

### **■街路灯、道路の凹凸、公園の遊具について**

行政推進員：高子駅前から南下するレンガ通りが暗いので街路灯を設置していただきたい。また、地震の影響でインターロッキングの凹凸がひどいため復旧していただきたい。近所の公園に遊具がありますが、滑り台、ブランコ、ジャングルジムが当面の間、使用中止の表示が掲示されています。地域からの利用再開の要望も高いので、早急に対応をお願いします。

行政推進員：同様に近くに児童公園があり、遊具に使用中止の張り紙がされています。担当課に確認したところ修繕ができないので撤去を考えていると説明があった。新しい遊具の設置については説明がなかった。高齢化も進んでいるため、新しい高齢者向けの遊具や子ども向け遊具設置を検討してほしい。

建設部長：レンガ通りの街路灯設置要望は、現地を確認し状況を含め検討します。レンガ通りの凹凸がひどい件に関しまして、現地を確認し必要に応じ対応したいと考えております。

都市整備対策政策監：公園の遊具は年に一度有資格者が点検し、安全か危険かを判定しています。法定点検の結果、危険の判定で使用禁止となった遊具が市内に多数あります。修繕が可能なものと不可能なものがあり、構造的な問題で修繕ができないものは、まずは撤去します。その後、必要な予算を手配し、従来の遊具が良いのか、高齢者向けの遊具が良いのかなど、意見をいただき、進めてまいりたいと思います。

## **建設・土木**

### **■道路の計画、大泉駅ベンチ修繕について**

行政推進員：桃陵中学校の14メートル道路。合併前の議会で決まり確定したのに今現在も実行されていない。阿武隈急行が開通して30年経過しました。当時NHKの鈴木健二さんからこの財産を絶対に無くさないで育ててくださいと言われたのを覚えています。当時の利用者は320人いましたが、今は半分くらいでしょうか。高校生が少しでも本を開いて勉強できる場所があれば子どもたちにとってもプラスになると思う。

建設部長：桃陵中学校前の2車線の歩道がある道路ですが、それよりも広い道路の計画があったというところでもよろしかったでしょうか。おそらく六万坊線という道路で、現在支援学校がある東側の道路の計画だと思います。計画として残っていますが、その一本東側の通り、幅員がある広い通り整理しながら、進めてまいりたいと考えております。

都市整備対策政策監：質問は阿武隈急行の大泉駅前のベンチ修繕の件でよろしかったでしょうか。後ほど詳細をお聞かせいただけますでしょうか。

## ■道路舗装の修繕について

行政推進員：大型車両の通行で道路舗装が損傷している。振動も発生し苦情が出ています。市である程度補修していますが、ひび割れが進んでる状態です。

建設部長：道路舗装が壊れているところが多くあり、ご迷惑をおかけしております。現地確認を行い必要なところは補修を進めてまいりたいと考えております。

## その他

### ■職員の懲戒処分について

行政推進員：3月29日の新聞に伊達市職員の懲戒処分の記事が掲載されました。内容は、市有施設の地震災害見舞金を期限内に申請しなかったため、939万円が受け取れなかったとのこと。この件に関して3点質問いたします。1点目は、なぜ期限内に申請できなかったのか。その原因を教えてください。2点目、この件に限らず、仕事の進捗管理いつまで誰が何をするといったスケジュール管理をどのようにしているのか。3点目は、仕事の進め方に問題があるのではないかと思う。今後、このような事案を防ぐために、どのような改善を行ったのか教えてください。

総務部長：市民の皆様にご心配と市に対する信頼を損なうような形となり、大変申し訳ございませんでした。まず1点目、なぜ申請できなかったのかという点ですが、市の施設は、市有物件共済会に火災保険として加入しています。地震等の対応はありませんが、大規模な災害のとき、市、全国市長会で集めた原資の一部を災害時の見舞い金として配るという制度があります。今回の事例は、通常の保険制度ではなかったため、担当者の引き継ぎ不足が原因でした。過去3.11の時には、申請をしています。2点目の仕事の進捗管理は各部署で、様々な形で行っています。一般的なToDoリストの作成、年間・月間のスケジュールを作り確認しています。今回の不祥事を受け、改めて5月に管理職を集め進捗管理等の研修をして参りたいと考えております。3点目のどのような改善を行ったかについては、管理職、職員の通常研修で仕事の進め方、計画スケジュールチェックを中心に強化していきたい。また、職員の引継ぎでは上司も同席した上で引継ぎを行うことも進めていきます。

市長：この度の申請事務の不適切な対応によって、市に入るべきものが入らなくなってしまう責任を感じております。今回の事例は事務引き継ぎが不適切だったということが一番だと私は思っています。担当だけではなく、管理職も含めた上司が自分のこととして、しっかり担当の事務を確認していく必要があると思っています。市役所一丸となって市のお金は皆さんの本当に大切なお金であることを肝に銘じて、事務手続き、市政運営をして参りたいといと考えております。いろいろなご迷惑をおかけしましたことを心からお詫びを申し上げまして、私

からの回答とさせていただきます。